

救急災害医療学学位プログラム（博士後期課程）

養成する人材像	災害・救急領域の学際的視点と臨床知見を結び付けることで、高度な専門性と総合的理解力を養う。さらに、国際的な救急・災害医療体制の違いを踏まえた対応力や比較分析力を涵養し、研究課題の設定から実証的検討、論文作成までの研究遂行力を重視する。また、学会発表を通じてプレゼンテーション能力や科学的コミュニケーション力を高めるとともに、教育者としての指導力と課題解決力の育成も図る。											
コースの特徴	<p>本学位プログラムは、救急・災害医療および危機管理に関する高度な専門知を基盤とし、理論と実践を高度に融合させた学修を通じて、独創的かつ社会実装に資する研究を推進できる人材の育成を目的とする。医療、危機管理、ロジスティクス、国際政策等の諸領域を体系的に配置し、超域的な視点から救急・災害対応の諸課題を総合的に探究する能力を涵養する。また、AI、シミュレーション科学、ビッグデータ解析等の先端技術を研究手法に取り入れ、災害時における迅速な意思決定、医療資源配分の最適化、および政策評価に寄与する高度な分析力を養成する。あわせて、国際共同研究や国際学会での発信を通じ、諸外国の救急医療システムとの比較研究を深化させ、グローバルな視野と実践知を兼ね備えた専門家を育成する。博士論文の作成過程においては、研究課題の独自性を担保し、理論的・実証的な検証を重ねることで、自立した研究遂行能力を確立する。これにより、高等教育機関や医療機関、行政機関等において指導的役割を担う研究者・教育者、および高度専門職業人の輩出を目指す。</p> <p>本学位プログラムにおける主な研究領域は以下のとおりであり、学生は自身の研究領域に応じて履修科目を選択する。</p> <p><研究領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急・災害医療の高度化とエビデンス創出 ・危機管理と災害対応の最適化 ・国際災害対応と政策形成 											
修了後の進路	大学教員／研究所職員／医療機関／消防機関／警察官／自衛官／海上保安官／関係行政機関（特に災害・危機管理対応）／中学校・高等学校教諭（保健体育）／専門学校教諭など											
年次・学期 科目区分	1年次			2年次			3年次					
	前学期		後学期	前学期		後学期	前学期		後学期			
大学院共通科目 (必修)	身体総合学術特論	2										
専門科目 (選択)	救急災害医療学特講	2	スポーツ救急特講	2								
			救急災害医療学演習	2								
			国際救急・災害システム演習	2								
研究指導科目 (必修)	救急災害医療学特別研究Ⅰ	(通年)	救急災害医療学特別研究Ⅰ	2	救急災害医療学特別研究Ⅱ	(通年)	救急災害医療学特別研究Ⅱ	2	救急災害医療学特別研究Ⅲ	(通年)	救急災害医療学特別研究Ⅲ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、12単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 保健医療学研究群専門科目: 救急災害医療学学位プログラムの科目から4単位以上 ※「救急災害医療学特講」は必修</p> <p>(3) 保健医療学研究群研究指導科目: 救急災害医療学特別研究Ⅰ～Ⅲの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>											
修了要件	3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。											
その他の学修・研究	学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 中間発表会 学会発表		学会発表		博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会	